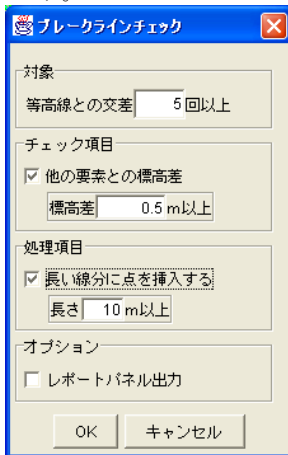


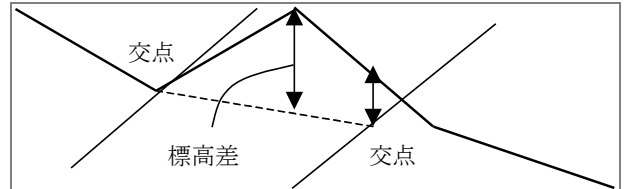
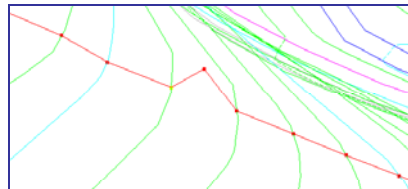
「チェック」－「ブレイクラインチェック」メニューを追加しました。  
以下は、操作説明書からの抜粋です。

### 【ブレイクラインチェック】

3次元のブレイクラインのうち、稜線や谷を表しているブレイクラインのチェックです。XY平面上で等高線と指定された回数以上の交差があるブレイクラインがチェックと処理の対象です。交差回数を0にすると、全てのブレイクラインが対象になります。



【他の要素との標高差】ブレイクラインの点について、前後の線分が等高線などの他の3次元要素と交差する場合、その交差点のZ座標から計算した標高値比較し、標高差が大きいケースをリストアップします。但し、ブレイクラインの点がランダムポイントなどの点要素と同じXY座標の場合、あるいは他の面・線要素の線分上にある場合、そこからの標高差をチェックします。



【長い線分に点を挿入する】稜線や谷が長かったり広がったりすると、TIN作成でブレイクラインがあっても水平な三角ポリゴンができることがあります。間に点を挿入することで、水平な三角ポリゴンの発生を少なくすることができます。